

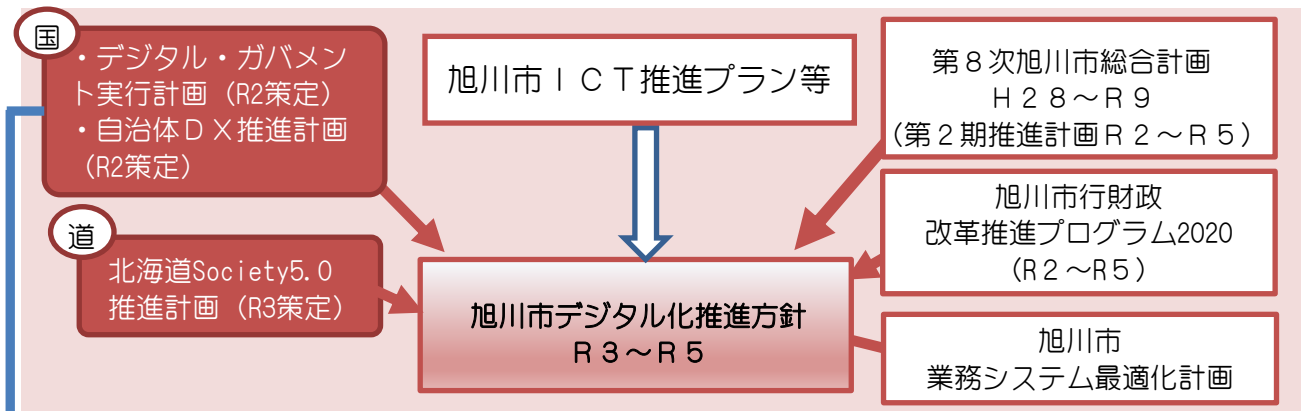
旭川市デジタル化推進方針（概要版）

①方針策定の趣旨

ICTの進歩や新型コロナウイルス感染拡大により、市民生活や企業活動が大きく変化しており、社会全体でデジタル化が不可欠となっています。国においては「デジタル・ガバメント実行計画」や「自治体DX推進計画」を策定するなどデジタル社会の構築に取り組んでいます。本市においても、このような急速なデジタル技術の進展や社会環境の変化に適切に対応し、ICTを活用し行政サービス向上等を進めるため、本方針を策定します。

②方針の位置付けと取組期間

第8次旭川市総合計画の施策を進めるため、市役所が取り組むデジタル化を推進する考え方を示したものです。本方針の取組期間は、令和3年度（2021年度）から令和5年度（2023年度）までとします。



自治体に取り組むべき 主な事項・内容

【重点取組事項】

- (1) 自治体の情報システムの標準化・共通化
- (2) マイナンバーカードの普及促進
- (3) 自治体の行政手続のオンライン化
- (4) 自治体のAI・RPAの利用促進
- (5) テレワークの推進
- (6) セキュリティ対策の徹底

【自治体DXの取組とあわせて取り組むべき事項】

- (1) 地域社会のデジタル化
- (2) デジタルデバイド対策

【その他】

- (1) BPRの取組の徹底（書面・押印・対面の見直し）
- (2) オープンデータの推進
- (3) 官民データ活用推進計画策定の推進

最上位計画である「第8次旭川市総合計画」の各施策をICTを活用して推進するため、「基本理念」を掲げるとともに、国が示す「自治体DX推進計画」を踏まえ市役所によるデジタル化を推進します。

③基本理念

機能的で信頼されるスマート自治体の実現

今後見込まれる生産年齢人口減少による労働力の供給制約の中において、ICTを活用してデジタル化を推進し、セキュリティを確保しながら質の高い行政サービスを、持続可能な形で提供し続ける機能的で信頼されるスマート自治体の実現を目指します。



④基本理念の実現に向けた基本目標（3つのS）

目標1	Speedy 行政サービス迅速化による利便性向上
電子申請や公共施設予約システムの利用拡大などの取組を実施	
目標2	Simple 行政運営の簡素化・効率化
AI・RPA等のICTの利活用や業務システムの最適化などの取組を実施	
目標3	Solution 地域課題の解決
オープンデータの活用推進や超高速ブロードバンド基盤整備などの取組を実施	

⑤本方針を支える基盤（3つのS）

基盤1	Saving ICT関連経費の節約
クラウドサービス利用によるカスタマイズ費用等、経費節約の取組を実施	
基盤2	Security 情報セキュリティの確保
旭川市情報セキュリティポリシーに基づくセキュリティ対策の徹底などの取組を実施	
基盤3	Skill デジタルスキルの向上・人材の確保
職員のICTリテラシーの向上などの取組を実施	

